

全私学新聞
平成 24 年 7 月 13 日 掲載



大学生が手作り電飾で
商店街をライトアップ

東京都市大学工学部建築学科

商店街の安藤武彦理事長は「学生が商店街に来ることでにぎわいが生まれた。いつもと違う雰囲気に、駅を降りた人がわざわざ足を運んでくる」とにぎわいづくりに一役買つたと話した。

制作過程で、学生と商店街の交流も生まれた。

別の商店主は「商店街も大学、学生とのかかわりを求めている。これがきっかけになれば」と期待を込めていた。

地元の小学生が将来の夢を描いた行灯やてるてる坊主も街路樹や通りを彩った。道行く人はユニークなライトアップの一つかひとつに足を止め、見入っていた。

イベントを指導した工学部建築学科の小林茂雄教授は「単に商店街に場所を借りて学生の作品を

はダイヤモンドII写真 展示するというのではなく
II、精肉店には子豚の形 く、商店街と共に作り上
のライトが飾られ、うな げたかった」と企画の意
の語る「吉元」は別の者で、「四七話」。

この記事・写真等は全私学新聞の許諾を得て転載しています。無断で複製等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

東京都市大学グループ
学校法人 五島育英会